

# 世界へ広がれ！日本のアクション 未来へつなぐ “サバ州”STOP地球温暖化防止センター

ひろげる助成

3年目

実践

センター利用 **85件**

センター事業参加者 **4,723人**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**



サバ州高校生地球温暖化防止プログラム授業

## 苦勞した点と工夫した点

### ■ 苦勞した点

環境教育プログラムと成果検証のアンケート構築に関し、熱帯雨林気候地域での地球温暖化防止アクションメニュー選定やデータ収集に手間取り、取捨選択にも難航した。

### ■ 工夫した点

サバ州政府環境局のセンタースタッフが中心となり、有識者・行政や民間団体(理科教師で構成される環境NGOやロータリークラブ等)・専門家とのネットワークを活用した。

## 課題

資源産出国でエネルギーに係る費用が安く、使用量に関する意識も希薄であり、市民生活や事業活動の中で省エネへの取組みは見られない、マインドセットが不十分な状況。

## 目標

マレーシア国全土で地球温暖化防止活動推進センターが認知され、国民による温暖化防止活動が継続的に実行される。

## 活動内容と成果

日本の地球温暖化防止活動推進センターの機能移転を図り、継続・定着することでサバ州の温暖化対策を推進中。

- 政府関係者や教師、環境NGOが温暖化対策への理解を深め、センターの認知度と活用が促進されている
- サバ州との協定締結(MOU)を根拠に、センター機能に資する人材育成として2018年度4,723人への授業を実現し隣接するサラワク州への波及効果を得た
- マレーシアと日本の高校生によるプログラム構築と実証は、若い世代からの活動拡充が期待でき、両国のパリ協定達成や、SDGsゴール13へ寄与した



マレーシア気候変動国際会議での事例発表



訪日研修会(秋田)での清水小授業視察

## 全助成期間の活動を振り返って

本事業はサバ州政府と協定書を締結したことにより、強固な連携体制の基にサバ州全域での事業展開が実現できた。事業年度が進むにつれてサバ州環境局の自発自立的な授業・講座回数も増加し、サバ州地球温暖化防止活動推進センターの認知度向上と利用活性化が一気に促進された。3年目には隣接サラワク州での事業展開や、首都で開催されたマレーシア気候変動国際会議で事例発表の機会を得る等、全土波及への一歩を踏み出した。

活動地域 |  マレーシア

〒010-0912 秋田県秋田市保戸野通町7-33 2F

電話：018-874-8548

E-mail：info\_ceed@ceeakita.org

http://www.ceedakita.org/index.html



## 今後の展望

現段階では基礎的な環境教育プログラムに関しては完成実証済みだが、より一層の行動変容やマインドセットを促すための学びを深める内容構築が必要と協議している。今後は「サバ州地球温暖化防止センター」が対策推進の中核を担い、プラットフォームとして機能を継続拡充することで温暖化防止へ寄与する。マレーシア全土でのこの取組みは、アジアに多々存在する類似ケース波及可能な先進モデル構築を目指す。